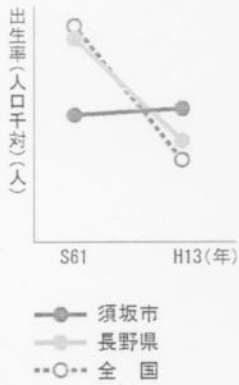


4 須坂市ってどんなまち(地域概況と特性)

出生率の動向

～合計特殊出生率の低下～

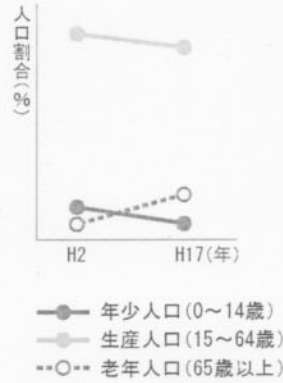


出生率は横ばい状態と なっていますが、長野県、 全国平均より高くなっ ています。

一方、合計特殊出生率(一 人の女性が一生で生む子 どもの数)は減少傾向に あります。

少子化の進展

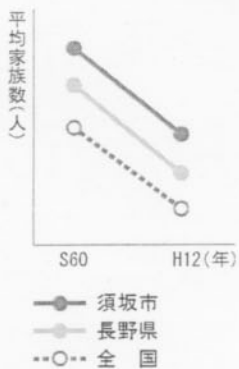
～年少人口の減少～



年少人口は、昭和55年 の25.1%をピークに減少 の一途をたどり、平成17 年では14.5%と少子化が 進行しており、県平均(14.4%) を若干上回っています。

核家族化の進展

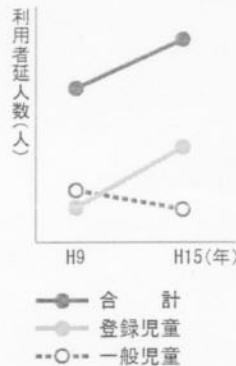
～平均家族数の減少～



平均家族数は年々減少 傾向にあり、平成12年 で は3.15人となっています が、全国や長野県平均と 比較すると大幅に上回っ ています。

児童センターの利用状況

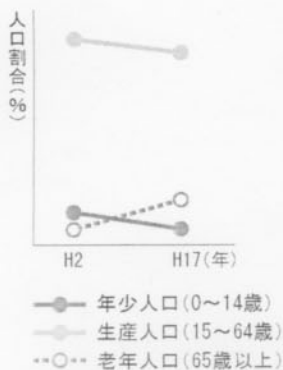
～登録児童の利用の増加～



児童センターの利用者 数は、年々増加傾向にあ りますが、一般児童の利 用が減っているのに対し、 登録児童の利用はほぼ倍 増しています。

高齢化の進展

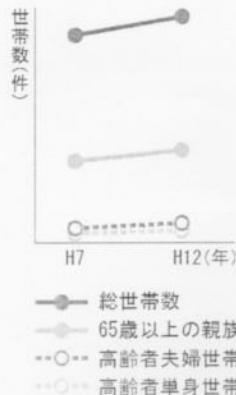
～老年人口の増加～



老年人口は、昭和40年 の7.0%から一貫して増加 を続け、平成17年では 22.5%となっておりますが、 県平均(23.6%)に比べる と若干下回っています。

高齢者世帯の動向

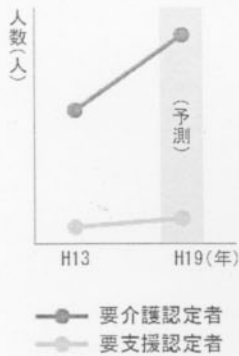
～高齢者世帯数の増加～



総世帯数が6.1%の伸び であるのに対し、65歳 以上の親族がいる世帯は 13.3%、高齢者夫婦世帯は 34.7%、高齢者単身世帯は 29.1%と高い伸びを示し ています。

要介護・要支援認定者の推移

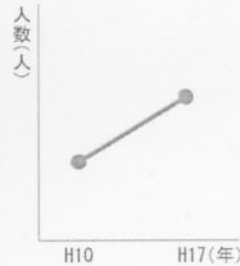
～要介護・要支援認定者の増加～



要介護・要支援認定者の推移をみると、いずれも増加の傾向をたどっており、今後も、年々かなりの伸びが見込まれています。

身体障害者の動向

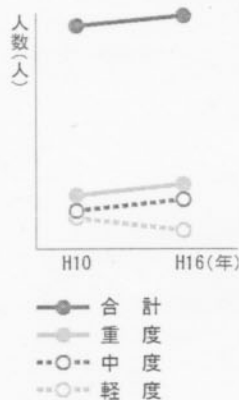
～高齢者の後天的疾患の増加～



身体障害者数(身体障害者手帳交付者数)は、増加傾向にあり、平成17年には2,064人となっています。原因別では、全体の80%前後が後天的疾患であり、年齢別では65歳以上の高齢者が、数・割合とも増加しています。

知的障害者の動向

～重度・中度が増加の傾向～



知的障害者数(療育手帳交付者数)は、平成16年では279人、人口1,000人当たり5.2人となっており、漸増傾向にあります。平成12年度についてみると、須坂市が4.3人、全国が2.6人となっており、全国平均を大きく上回っています。

精神障害者の動向

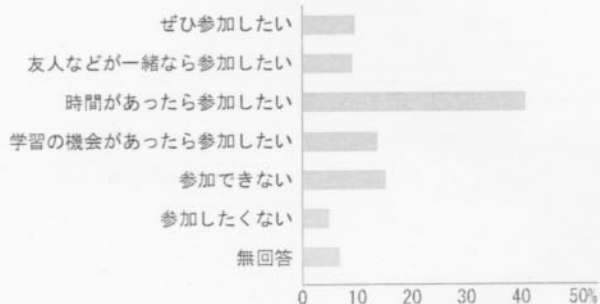
～増加の傾向～

須坂市の精神障害者数(精神障害者保健福祉手帳交付者数)は増加の傾向にあり、平成16年では154人となっています。

平成16年の医療形態別患者数では、措置入院者1人、医療保護入院者14人、医療公費負担による通院者420人、計435人となっています。

ボランティアへの参加

～参加への動向～



参加経験のある人は36.3%ですが、参加意向を有している人は70%を超えています。

保健指導員の活躍

～制度発生の地として～

保健指導員は、昭和33年に須坂市で始まった制度であり、以来須坂市では住民主体の保健活動の柱となっています。

任期2年を1期とし、市民の健康保持増進のための実践活動が行われています。